

大地の声 天空の響き

真言宗声明とカウンターテナーによる祈りの音楽



本公演では、千二百年の歴史をもつ真言宗の声明による東洋の祈りと、シューベルトやグノーらが紡いだ「アヴェ・マリア」による西洋の祈りの音楽が、一つの舞台で響き合います。

僧侶たちの声明による深い祈りの世界から、カウンターテナー・藤木大地の歌声とハープの清らかな音色による西洋の祈りへ。

そして、最後には東洋と西洋の祈りが一つの舞台で重なり合う特別なコラボレーションが展開されます。

東洋と西洋が交差する、かけがえのない音楽体験をじっくり味わえる貴重な機会。

公演をより楽しむために、その魅力を少しだけご紹介します。

しょうみょう

声明って何？

法要などで僧侶が経典を唱える際に、言葉にさまざまな旋律をつけた無伴奏の音楽を「声明」といいます。音楽的な技巧を凝らすことで、経典の言葉をより美しく彩り、音楽的な魅力を伴った唱えともいえます。

お寺での毎日のお勤めから年中行事として行われる法会など、さまざまな仏教儀式の中で、今日まで受け継がれてきました。西洋音楽のような音階や旋律はほとんど存在しませんが、僧侶たちが唱和する際には一定の抑揚が与えられ、独特なハーモニーを生み出します。

声明の起源

声明は、仏教・経典とともにインドから中国へ伝えられ、中国で発展し、やがては日本へと伝えられました。声明の伝統は奈良仏教に見られますが、今日唱えられている声明の源は、平安時代初期に伝承された弘法大師 空海による真言声明、伝教大師 最澄による天台声明の二流と考えられています。天台声明はゆったりとした優美な唱え、真言声明はダイナミックな力強い唱えが特徴です。また、これらの声明は、平家琵琶や謡曲、浄瑠璃などに影響を与え、「日本の音楽の原点」とも言われています。

現代に響く「声明」

長く師僧から弟子へ口伝で受け継がれてきた声明も、近年は大学で学んだり、録音や映像で触れたりできるようになり、学ぶ環境や伝え方は大きく変わりました。その中で、声明の美しい音楽性が広く評価され、ホールでの演奏や他ジャンルとのコラボレーションなど、表現の幅もぐんと広がっています。日常ではなかなか聴く機会のない声明ですが、コンサートホールで聴ける今回の公演は、声そのものの力を改めて体感できる貴重な機会です。ぜひ、その響きを存分にお楽しみください。



法蔵院住職 堤大恵

メッセージ

真言宗大覚寺派宗務総長 堤大恵（九州真言宗教師連合法親会 会長）

宗教音楽というと難しそうなイメージですが、人々に安らぎや喜びを与え、祈りと感謝を捧げる音楽です。“日本の音楽の原点”といわれる声明の深い芸術性、日本の伝統文化を、祈りと感謝の気持ちを込めて、伝承したいと思います。

宗教音楽は本来、死者を弔うものではなく、真摯に生きる人達に向けたメッセージです。いま生きている私たちが、いかに生きていくかを奮い立たせるものでもあります。コンサートホールに魂の声を響かせ、生きている喜びや希望を、音楽を通じてより深く感じて頂きたいです。

カウンターテナー藤木大地、故郷・宮崎で魅せる特別ステージ！

宮崎市出身で「みやざき大使」としても活躍中のカウンターテナー、藤木大地さん。少年時代は合唱部で歌う楽しさに夢中になり、「歌うって楽しい！」がそのまま声楽への道につながったそうです。

2011年には思い切ってテノールからカウンターテナーに転向！ウィーン留学中に裏声の可能性を発見し、「これはやってみるしかない！」と本格的にカウンターテナーとしての道を歩み始めた藤木さん。転向後すぐに国際コンクールで高評価を受け、世界大会のファイナリストや日本音楽コンクール優勝など、すごい実績を次々と積み上げました。

2013年にはボローニャ歌劇場でヨーロッパデビュー。透明感あふれる声と表現力はもちろん、ステージに立つだけで堂々とした風格が感じられます。今回の公演の第二部では、ハープ奏者・高野麗音さんと一緒に、西洋の祈りの

旋律を届けます。祈りの音楽として広く知られる「アヴェ・マリア」は、聖母マリアへの祈りの言葉をもとに作られた曲。同じ「アヴェ・マリア」でも作曲家によって表情が異なるのも魅力の一つです。

今回は、シューベルト、バッハ＝グノー、マスカーニの「アヴェ・マリア」などを披露。藤木さんのカウンターテナーならではの澄みきった高音が、ハープの柔らかな響きと重なり、男性の声とは思えない透明な響きが心の奥まで届きます。まさに祈りに包まれる特別なひとときです。

さらに第3部では、千二百年の伝統を誇る日本仏教の「声明」とのコラボレーションも実現。藤木さんが世界で磨いた表現力と声明の祈りの響きが重なり合う、故郷・宮崎での特別なステージです。

どうぞ、お聴き逃しなく！！



©hiromasa

藤木大地さんからのコメント動画をチェック！

公演に向けて、藤木大地さんからのメッセージ動画が届きました。ステージへの思いや、聞きどころポイントを、藤木さん自身の声でご紹介！

こちらの公演ページからご覧ください。



公演情報

11/24(月) 大地の声×天空の響き
～真言宗声明とカウンターテナーによる祈りの音楽
14:30開場／15:00開演

会場：演劇ホール

出演：藤木大地(カウンターテナー)、九州真言宗教師連合法親会(声明)、高野麗音(ハープ)
料金：全席指定 一般 4,000円(会員 3,600円)、U25 割 2,500円 ※鑑賞時 25歳以下

- 第一部 声明による“祈り”
庭讀(にわのさん)、散華(さんげ)、称名禮(しょうみょうらい) ほか
- 第二部 カウンターテナーとハープによる“祈り”
J.S. バッハ＝C. グノー：アヴェ・マリア、F. シューベルト：アヴェ・マリア、P. マスカーニ：アヴェ・マリア ほか
- 第三部 コラボステージ
露地偈(ろじのげ)、理趣経善哉譜(りしゅきょうぜんざいふ)、渋谷慶一郎：BLUE

※曲目は変更になる場合があります。予めご了承ください。

プレレクチャー 参加者募集！

公演前には、声明の魅力を身近に感じられるプレレクチャーを開催します。えびの市・弘泉寺の成松昇俊名誉住職が、声明や真言宗、空海について、ユーモアを交えながらわかりやすく解説。実際に声明の体験も行い、初めての方でも聴きどころや声の響きを事前に知ること、公演本番をより深く楽しめます。申込受付は9月10日から、先着100名様まで。二次元コードからも簡単にお申込みいただけます。どうぞ、この機会をお見逃しなく。

2025年10月13日(月・祝) 14:00～(1時間予定)

お話：弘泉寺 名誉住職 成松昇俊、法蔵院住職 堤大恵、鎮国寺住職 立部瑞真
会場：イベントホール

料金：無料(要事前申込、先着100名)

問合せ先：公益財団法人宮崎県立芸術劇場 企画広報課「声明プレレクチャー」係
TEL 0985-28-3208

参加申込はこちら

